

# SEKONIC

## ズームマスター L-508 CINE

### 使用説明書

この使用説明書は、L-508から変更、又は追加した機能の使い方についてのみ説明しております。

#### 株式会社 セコニック

本社 〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14 ☎ 03-3978-2366

写真機材グループ : 〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14  
☎ 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144

大阪支店 : 〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル  
☎ 06-6263-1571 FAX 06-6261-2072

東京サービスセンター : 〒162-0843 東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 新軒ビル  
☎ 03-3269-7243 FAX 03-3269-7931

お買い上げありがとうございます。

L-508CINEをお使いの際は、必ずL-508の使用説明書(同梱)をお読みになった後、この使用説明書をお読みください。

この使用説明書には、保証書が添付されていません。L-508の使用説明書に添付されております。

## L-508CINEの主な追加機能

L-508CINEはL-508の機能に加えて、映画撮影やテレビ及びビデオ撮影に便利なフートキャンドル(入射)並びにルクス測定(入射)、フートランバート測定(反射)ができ、更にシャッター開角度(シネモード設定時)、フィルター補正等の機能が追加されました。又、スチールモードでは通常の露出測定(L-508と同等)ができます。

## 主な特長

1. 測定機能(追加)  
照度『フートキャンドル(F C)、ルクス(L U X)』、輝度『フートランバート(F L)』の測定ができます。  
更に簡易照度計・簡易輝度計としても使用できます。
2. シャッター開角度補正機能(追加)  
5° から270° (5° ステップ)と144°、172° が設定でき、開角度に応じて補正された測定値を表示します。
3. シャッター速度設定値(変更)  
コマ撮りから高速度撮影等にも利用できるようにシャッター速度を1~1000 f / s に変更しました。(L-508は2~360 f / s)
4. フィルター補正機能(追加)  
映画撮影時に使用頻度の高い7種類のフィルターが設定でき、補正されたF値を表示します。
5. 絞り値の表示範囲(変更)  
映画撮影に重要な暗い部分の映像表現に対応できるように、絞り値の表示はF0.5~F90+0.9絞りに変更しました。(L-508はF1.0~F128+0.9絞り)  
ドット表示部はF0.5~F45(0.5ステップ)に変更しました。(L-508はF1.0~F128)
6. ダイヤルロック機能(追加)  
モード設定ボタンとISO設定ボタンを同時に押すと、“L O C K”が表示され、それ以降は設定/変換ダイヤルを回しても設定値、測定値は固定されて変わりません。但し、測定ボタンを押すと設定値は変わらず新たな測定値を表示します。
7. メモリー及び平均値演算機能(変更)  
最大5点のメモリーができ、またその平均値(シネ・スチール共通)を、ドット表示部上に表示します。(L-508は最大3点まで)
8. 露出補正機能(変更)  
入射光式・反射光式の露出補正が別々に設定でき、より使い易くなりました。  
(L-508は入射光式、反射光式が同時に補正されます)
9. 液晶バックライト(変更)  
周囲の明るさがE V6以下で測定した場合、自動的にバックライトが20秒間点灯します。(L-508はE V3以下、10秒間点灯)

## 1. 液晶表示部の説明 ..... 1

## 2. 基本操作 ..... 2

1. デイップスイッチの設定 ..... 2
2. 入射光式測定モードの設定(シネモード) ..... 3
3. 反射光式測定モードの設定(シネモード) ..... 3

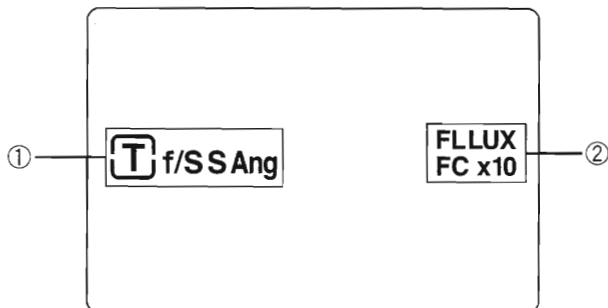
## 3. 操 作 ..... 4

1. 簡易照度計として使用する場合 ..... 4
2. 簡易輝度計として使用する場合 ..... 4
3. シャッター開角度の設定方法 ..... 5
4. シャッター速度の設定方法(シネコマ数) ..... 6
5. フィルター補正について ..... 6
6. 設定・測定値のロック及び解除 ..... 7
7. メモリー回数 ..... 8
8. アベレージ機能 ..... 8
9. 露出補正について ..... 8
10. 液晶バックライト ..... 9
11. 電池容量の確認 ..... 10
12. 設定方法早見表(操作シール) ..... 10

## 4. 仕 様 ..... 11

# 1. 液晶表示部の説明

\*本表示は説明の為、実際とは異なります。



- ① T : シャッター速度  
f / s : シネコマ数  
s : 秒  
Ang : シャッター開角度が180° 以外の開角度設定時に表示
- ② FL : 反射時の輝度(フートランバート)  
LUX : 入射時の照度(ルクス)  
FC : 入射時の照度(フートキャンドル)  
x10 : 表示された数字を10倍する。

**ご参考** ● 上記以外の表示についてはL-508使用説明書P2を参照願います。

# 2. 基本操作

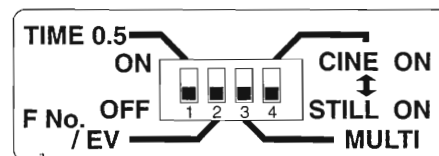
## 1. ディップスイッチの設定

電池ふたを外し、左側より

- 1) TIME0.5  
ディップスイッチ1をONすると、シャッター速度を0.5段単位で表示します。OFFすると1段単位で表示します。
- 2) FNO. / EV  
ディップスイッチ2をONすると、絞り優先モード(シネモード時は無効)及びEVモードの設定ができます。OFFすると解除されます。
- 3) MULTI  
ディップスイッチ3をONすると、積算モード(シネモード時は無効)が設定できます。OFFすると解除されます。
- 4) CINE / STILL  
ディップスイッチ4をCINE側にONすると、シネモードになります。

**ご注意** ● 簡易照度計、簡易輝度計として使用する場合は、シネモードにしてご使用願います。

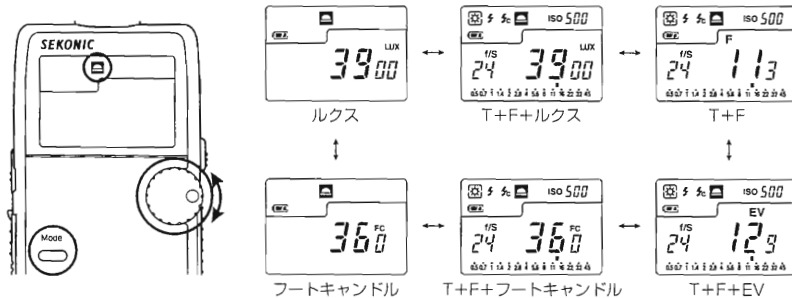
ON	シネモードをONした場合	スチールモードをONした場合
TIME0.5	設定できます	設定できます
FNO./EV	EVのみ設定できます	設定できます
MULTI	設定できません	設定できます



## 2. 基本操作

### 2. 入射光式測定モードの設定(シネモード)

モード設定ボタンを押しながら、設定/変換ダイヤルを回転させると下記のように変換できます。

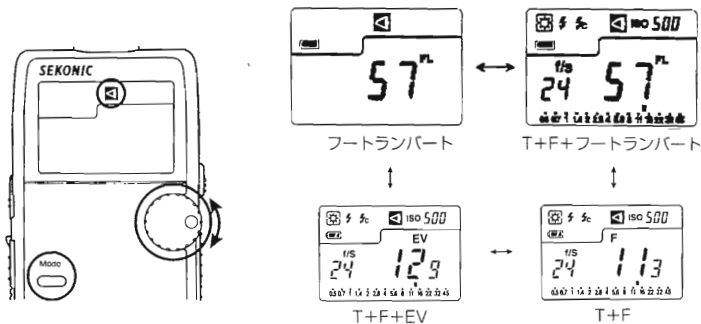


#### ご参考

- 測定方法はL-508使用説明書P16を参照願います。
- 照度を測定する時は必ず、光球を下げた状態(平板機能)で測定して下さい。

### 3. 反射光式測定モードの設定(シネモード)

モード設定ボタンを押しながら、設定/変換ダイヤルを回転させると下記のように変換できます。



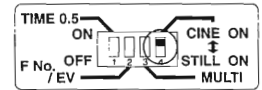
#### ご参考


- 測定方法はL-508使用説明書P16を参照願います。

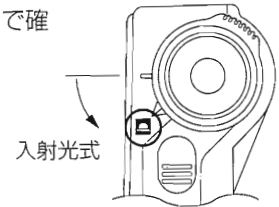
## 3. 操作

### 1. 簡易照度計として使用する場合

- 1) 電池フタを外してデップスイッチの4番目をシネ側に設定します。



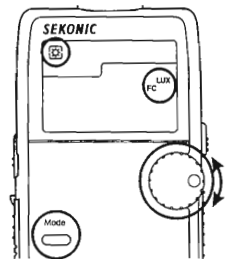
- 2) 入射切り換えダイヤルを  マークまで確実に回して、切り換えます。



- 3) 光球上下リングを回して『DOWN』の位置にします。



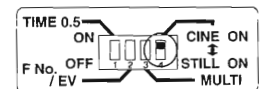
- 4) モード設定ボタンを押しながら設定/変更ダイヤルを回転させてLUX又はFC測定モードにします。



- 5) 測定したい面と受光部が平行になるようにして測定ボタンを押し測定します。

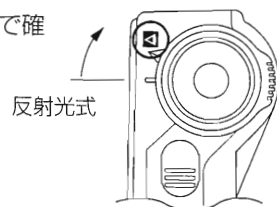
### 2. 簡易輝度計として使用する場合

- 1) 電池フタを外してデップスイッチの4番目をシネ側に設定します。

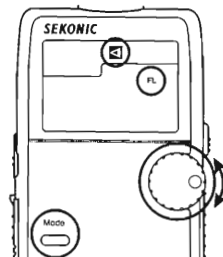


### 3. 操作

- 2) 入反射切り換えダイヤルを ◀ マークまで確実に回して、切り換えます。



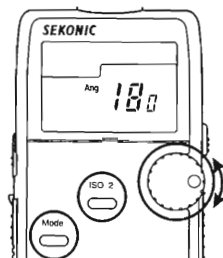
- 3) モード設定ボタンを押しながら設定/変更ダイヤルを回転させフートランパート (FL) の測定モードにします。



- 4) ファインダーを覗き、測定したい部分がサークル内に入るようにして測定ボタンを押し測定します。

### 3. シャッター開角度設定方法

- モード設定ボタンとISO2設定ボタンを押しながら設定/変換ダイヤルを回転させて希望のシャッター開角度に設定します。



#### ご注意

- この設定はシネモードでシャッター速度がシネコマ数表示(f/s)の時だけ有効です。

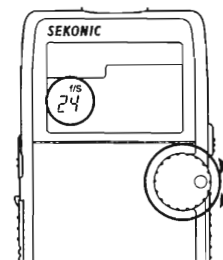
#### ご参考

- 設定できるシャッター開角度は5° ~270° (5° ステップ)と144°、172° が設定できます。
- シャッター開角度が、180° 以外に設定されている時は液晶表示部に "Ang" が常時表示されます。
- シャッター開角度は、常時表示されていないため、確認したい場合は、モード設定ボタンとISO2設定ボタン押してください。

### 3. 操作

### 4. シャッター速度の設定方法(シネコマ数)

- 設定/変換ダイヤルを回転させて希望のシャッター速度(シネコマ数)に設定します。

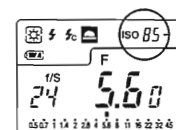
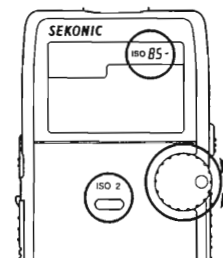


#### ご参考

- 設定できる範囲は1、2、3、4、6、8、12、16、18、24、25、30、32、36、40、48、50、60、64、72、75、90、96、100、120、125、128、150、200、240、250、256、300、360、375、500、625、750、1000で単位はf/sとなります。

### 5. フィルター補正について

- 1) 映画撮影時に使用頻度の高い7種類のフィルターが設定できます。
- 2) ISO2設定ボタンを押しながら設定/変換ダイヤルを回転しISO8000以降の7種類の記号から選択します。
- 3) フィルター補正されているとISO2設定ボタンを押している間、フィルター-の記号と補正されたF値又はEV値が表示されます。



#### ご参考

使用フィルターと液晶表示及び補正量

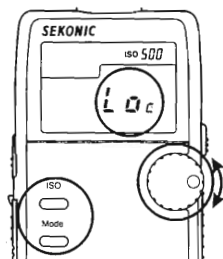
フィルターNo	85	ND0.3	ND0.6	ND0.9	85N3	85N6	85N9
液晶表示	85-	n3-	n6-	n9-	A3-	A6-	A9-
補正量 (EV値)	-0.7	-1	-2	-3	-1.7	-2.7	-3.7

(フィルターNoはコダック株式会社製ラッテンフィルターNoです。)

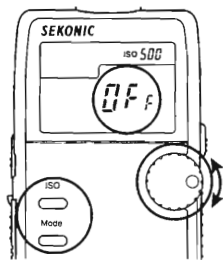
### 3. 操作

#### 6. 設定・測定値のロック及び解除

- 1) モード設定ボタンとISO設定ボタンを同時に押すと“LOCK”が掛かり、それ以降は設定／変換ダイヤルを回しても設定値、測定値は固定されて変わりません。但し、測定ボタンを押すと設定値は変わらず新たな測定値を表示します。



- 2) 再度モード設定ボタンとISO設定ボタンを同時に押すと、“OFF”と表示され、ロックは解除されます。



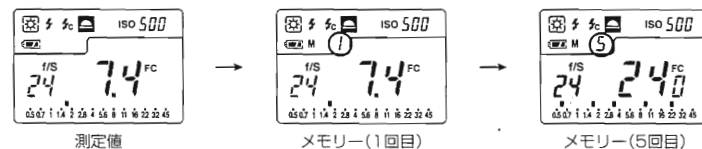
#### ご参考

- ロック状態で電源OFF，又はオートOFFされた場合は、次に電源がONされた時もダイヤルロック機能が継続されています。

### 3. 操作

#### 7. メモリー回数

メモリー回数は最大5点までの測定値をメモリーシドット部に表示します。

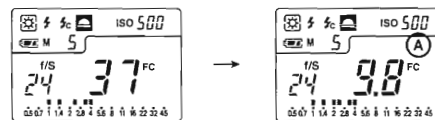


#### ご参考

- メモリーの方法と表示の説明についてはL-508本文使用説明書P26を参照願います。

#### 8. アベレージ機能

メモリーされた5点までの測定値を平均し、表示します。



#### ご参考

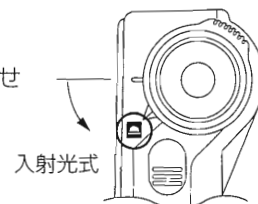
- アベレージの方法と表示の説明についてはL-508本文使用説明書P27を参照願います。

#### 9. 露出補正について

L-508CINEの露出値は弊社の規格で管理されていますが、他のメーターとの整合をとりたい場合、又はお客様の好みで露出値を変更したい場合に、露出補正が入射式と反射式別々に1/10EVステップ単位で±9.9EVまでの変更が可能です。

##### 1. 入射光式の露出補正

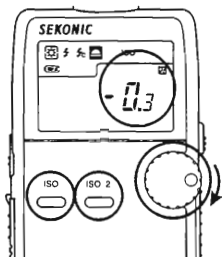
- 1) 入反射切り換えダイヤルを入射光式に合わせます。



### 3. 操作

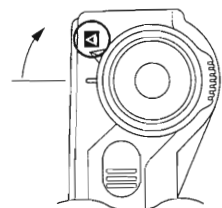
2) ISO設定ボタンとISO2設定ボタンを同時に押しながら設定/変換ダイヤルを回転して設定します。

3) この状態で測定すると補正された測定値が表示されます。



#### 2. 反射光式の露出補正

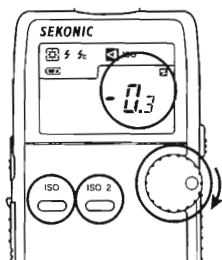
1) 入反射切り換えダイヤルを反射光式に合わせます。



反射光式

2) ISO設定ボタンとISO2設定ボタンを同時に押しながら設定/変換ダイヤルを回転して設定します。

3) この状態で測定すると補正された測定値が表示されます。



#### ご参考

- 補正されている場合は、液晶表示部に **7/4** が常時表示されています。
- ISO設定ボタンとISO2設定ボタンを同時に押しと補正量が確認できます。

#### 10. 液晶バックライト

周囲の明るさがE V6以下で測定した場合、自動的にバックライトが20秒間点灯します。

### 3. 操作

#### 11. 電池容量の確認

1) 電源ボタンをONすると液晶表示部に電池容量を示すマークが表示されま

す。



点灯 電池容量は十分です。



点灯 予備の電池を用意してください。



点滅 直ちに電池を交換してください。

#### ご参考

- 電池寿命についてはL-508使用説明書P5を参照願います。

#### 12. 設定方法早見表(操作シール)

モード切り換え	MODE + ダイヤル
シャッター開角度	MODE ISO2 + ダイヤル
フィルター補正	ISO2 + ダイヤル
設定・測定値ロック	MODE ISO
露出補正	ISO ISO2 + ダイヤル

上記のシールが同梱されていますので電池ふたに貼ると便利です。

## 4. 仕様

形式	●一眼ズーム(1°~4°)内蔵スチール(フラッシュ光及び定常光)、及びシネ用デジタル露出計
受光方式	●入射光式及び反射光式
受光部	●入射光式 光球↔平板機能(光球を本体内部に移動する機能により平板機能兼用) ●反射光式 一眼ズーム(受光角1°~4°) 測定距離1m~無限大 ●外部受光式 ブースター(別売)、ミニ受光部(別売)
受光素子	●シリコンフォトダイオード
測定方式	●定常光 絞り優先測定 シャッター速度優先測定 EV測定 簡易照度測定(ルクス、フートキャンドル) 簡易輝度測定(フートランパート) ●フラッシュ光 シンクロコードを用いて測定(積算あり、なし) シンクロコードなしで測定(積算あり、なし)
測定範囲 (ISO 100)	●定常光 入射光式EV-2~EV19.9(0.1ステップ) 反射光式EV3~EV19.9(0.1ステップ) ●フラッシュ光 入射光式F0.5~F90+0.9絞り(0.1ステップ) 反射光式F5.6~F90+0.9絞り(0.1ステップ)
	●照度 0.63~94,000ルクス 0.10~99,000フートキャンドル } 有効2桁
	●輝度 0.29~36,000 フートランパート }
繰り返し精度	●±0.1EV以内
校正定数	●入射光式 光球C=340, 平板C=250 ●反射光式 K=12.5
表示範囲	●フィルム感度 ISO3~8000(1/3ステップ) ●シャッター速度 定常光 1800秒~1/8000秒(1又は0.5ステップ) 他 1/200, 1/400秒 シネコマ数(f/s) 1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 16, 18, 24, 25, 30, 32, 36, 40, 48, 50, 60, 64, 72, 75, 90, 96, 100, 120, 125, 128, 150, 200, 240, 250, 256, 300, 360, 375, 500, 625, 750, 1000

## 4. 仕様

フラッシュ光	1秒~1/1000秒(1又は0.5ステップ)他1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400秒
●絞り値	F0.5~F90+0.9絞り(0.1ステップ)
●EV値	EV-9.9~EV36.1(0.1ステップ)
●ドット表示	FNoスケールF0.5~F45(0.5ステップ)
●モニター表示	EV-9.9~EV9.9(0.1ステップ)
●積算回数	0~9回
●補正表示	EV-9.9~EV9.9(0.1ステップ)
●シャッター開角度	5°~270°(5°ステップ)、他144°、172°
●フィルター補正	85-、n3-、n6-、n9-、A3-、A6-、A9- (コダック株式会社製ラッテンフィルターNo 85、ND0.3、ND0.6、ND0.9、85N3、85N6、85N9に対応)
その他の機能	●生活防水(JIS規格 保護等級4級、防沫形) ●メモリー10点まで可(入射光式で5点、反射光式で5点) ●積算9回まで可 ●アベレージ演算 ●モニター ●測定範囲外 E.U(アンダー) E.O(オーバー)警告表示 ●電池容量表示 ●自動電源OFF(最終操作後20分) ●液晶バックライト自動点灯(Ev6以下、約20秒) ●モード選択ディップスイッチ ●三脚用ネジ穴付き ●2種類のフィルム感度設定可 ●視度補正レンズ装着可 (株式会社ニコン製F-801S、F801の接眼補助レンズ-5~3Dpまで9種が使用可)
使用電池	●単3形乾電池1本(マンガン、アルカリ、リチウム乾電池のいずれか)
使用温度範囲	●-10℃~50℃
保管温度範囲	●-20℃~60℃
寸法	●約84(幅)×156(高さ)×40(厚さ)mm
質量	●約210g(電池別)
標準付属品	●ソフトケース、巾着袋、ストラップ2本(本体用、対物レンズキャップ用) 対物レンズキャップ、シンクロターミナルキャップ、操作シール、単3形乾電池1本

この使用説明書に記載の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。